



としょかんだより 4月号

東峰学園（小学部）梶原弥生

あたたかな春の陽気とともに新年度がスタートしました。新しい先生、新しい友達、新しい教室、新しいものがいっぱいの新学期になりました。図書館も新しい本を準備してみなさんが来るのを待っています。きまりを守って、みんなが気持ちよく利用できるようにしましょう。

図書館によろこそ 本の貸し出しがはじまります！

ひとり1冊、1週間借りられます。（金曜日、祝日前の日は、2冊）

【みなさんに守ってほしいこと】

- ① 本を大切にしましょう。（図書バッグを持ってきます。雨が降っているときは、本をビニール袋などに入れて、雨にぬれないようにしましょう）
- ② 図書館では静かにしましょう。
- ③ 一週間以内に返しましょう。（読み終わらないときは一度返して、もう一度借りましょう）

「こどもの読書週間（4月23日～5月12日）」

4月23日は、子ども読書の日です。その日から5月12日までを「こどもの読書週間」と言います。「子どもたちにもっと本を」「子どもたちにもっと本を読む場所を」との願いから誕生した取り組みです。

この期間に「家読（うちどく）」をしたり、お家の人と本の読み聞かせなどをして、本の時間を作りませんか。

（「家読」とは「家庭読書」の略語で、「家族ふれあい読書」を意味します。家族で本を読んでコミュニケーションを図り、本を通して家族の絆を深めることを目的としています。）

新しい本が届きました

「青空小学校いろいろ委員会6 放送委員はにんきもの」

人を楽ませるのが得意なピョンタは、4年1組のムードメーカーにとどまらず学校一の人気者です。ピョンタが担当するお昼の放送が、つまらないわけがない！はずだったのですが・・・。

青空小学校いろいろ委員会シリーズは、7巻まで出ています。



進学・進学されたみなさん、おめでとうございます

「とのさま1ねんせい」

とのさまは遊ぶの大好き。おべんきょうは、大きい。

「いやじゃ、いやじゃ。1年生になりたくないのじゃ。」

困りはてた家来たちは・・・。

「がっこうだって ときどきしてる」

学校はときどきしていました。だれかの家になるのだと
思っていたらなんと学校だったのです。ついに、学校が
始まる日、大ぜいの子どもたちがやって来ました

「ねこのピート はじめてのがっこう」

初めての勉強に、初めての給食。初めてのことはばかりが
おきると誰もが不安になるものですが、ピートはちっとも不安に
なかなりません。いつも自分なりの楽しみを見つけて
「かなり さいこう！」と歌を歌います。

「すみれちゃんは 一年生」

すみれちゃんは一年生になりました。ランドセルはもちろん
すみれ色です。すみれちゃんはうれしくて仕方ありません。お
姉さんになったから、夜もおそくまで起きていていいのです。

「一年生なんだもん めざましくんと大とっくん！」

くみちゃんは、小学一年生。ある朝、自覚まし時計が
ねぼうをしてしまって・・・。

「しんばいなことがありすぎます！」

ももは一年生になってから、忘れ物をしたことがありませ
ん。忘れ物が心配なので、教科書やノートを全部ランドセルに
つめこみます。朝、ももが歩いていたら、かずまくんに「ヤド
カリみたい」と言われました。

保護者のみなさまへ

図書司書の梶原弥生です。今年も図書館のお世話をさせていただきます。子どもたちに読書の楽しさを伝え、本をもっともっと好きになってもらえるような工夫をしていきたいと思っています。宜しくお願い致します。

